

発言通告書の要旨(代表質問)

令和4年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨	
3/10 (木)	1	清風会 詫間政司	1、市長の政策実現に向けての運営について	1期目に果敢に提案し取り組んできた数々の政策を、2期目においていかにして成果を出そうとするのかその運営法について問う。 ①人材 ②組織 ③財源 ④進捗計画	
			2、予算編成方針から見る財政見直しについて	予算編成方針では、R2年度決算における経常収支比率が97.9%であることから、義務的経費をはじめ、今後予測される必要不可欠な経費の発生による財源不足の強い危機感を示している。この現状に対していかに対処していくのかを問う。	
			3、教育の本質へのロードマップについて	施政方針では、「教育の本質を問い、学校教育を再考する必要性の高まりを感じている」とある。この思いを具現化するための工程がロードマップなのだろうと思う。複数の分野にかかることだと想像できるので、どのような組織体制で取り組むのかを問う。	
			4、持続できる教育政策について	教育政策は、ぶれることなく継続あってこそ成果が表れるものだと思う。給付型奨学金の拡充の方向性と財源、及び夜間中学の運営体制と財源について問う。	
			5、農業振興について	人材補強と併せ、基金事業の支援の強化のための大幅な見直しを予定しているとのことだが、方向性を問う。 ①薬用作物栽培の6次化の構想 ②新規就農の初期費用の軽減策	
			6、情報伝達について	「様々な情報発信ツールを掛け合わせながら、必要な方に必要な情報が届くよう、情報の伝達のあり方を検討する」とあるが、仕組みと全体像を問う。	
			清風会 近藤 武	1、健康・ウェルネスについて	柱の一つとして、健康がうたわれている。市民の健康は非常に重要である。「ウェルネス」のための健康プログラムや食育プログラムなどの展開や生活習慣病の抑制、関係部局連携、民間活力の導入とは。また新たに動き出す「みとよ市民病院」ウィズコロナ社会に向けて市民の安心のために寄り添った医療サービスとは。また健康のための拠点整備と健康データ管理について、これからどのように取り組むのかを聞く。
				2、三豊市独自の脱炭素社会について	柱の一つとして「三豊市独自の脱炭素社会」、国は2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを宣言、三豊市として「ゼロカーボンシティ宣言」を表明するとのことだが、これからどのような取り組みになるのかを聞く。
				3、交通手段の確保について	安全な交通手段の確保は地方自治体にとって、市民高齢者にとって喫緊の課題であるのは間違いない。民間では、「mobi」といった実証実験が行われた。これからの新たなモビリティサービスについてどのように関わっていくのかを聞く。
				4、地域産業振興について	MAiZM連携、AI人材やデータサイエンティスト育成の全国的なイベント誘致とは。またMitoPayは地域での消費につながる有効な手段である。本市独自のアプリを導入したのであればその得られた顧客情報やデータをどのように生かしていくのかMitoPayの可能性について聞く。

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/10 (木)	2	自民新政会 城中利文	1、人口減少について	(1)三豊市誕生から16年間で10,489人の人口減少、年平均656人の減少傾向について (2)三豊市の将来推計人口は8年後の2030年(令和12年)55,230人に減少、18年後の2040年(令和22年)47,957人に減少、18年間で12,610人減少予測における将来に向けての対策について (3)人口減少が及ぼす財政面について (4)人口減少による空き家件数、5年前は約2,000件、現在の件数、また今後の対応について (5)外国人(実習生、留学生)の増加に対する対応について (6)農業の高齢化・担い手不足による耕作放棄地の増加に比例しイノシシが増加。人里近くで出現し、農作物への被害の拡大についての対策について
			2、公共施設について	(1)三豊市は香川県で一番人口減少が進んでいる中、公共施設の人口一人当たり延床面積が県内他市と比べ最も多い現状について (2)現存する公共施設数の削減について (3)人口減少が進む中にある公共施設存続について
	3	立憲(CDP) 三木秀樹	1、市長が主張する(施政方針での)「根本的な構造の変革」とは何か、誰もが「共感できる」ことなのか	市長は、4年前の2018年3月議会で「共感力」を熱く話した。2022年の施政方針の骨格は「変革の時代」の認識を熱く訴えようとしている。「これまでの社会変化とは一線を画する大きな変革の時代(P3)」「誰も経験したことのない変革の時代を歩む(P15)」「私たちの想像を超える大きな変革の時代を迎える(P16)」と示唆しているが、具体的指摘は「不明である」。誰からも共感を得られるよう、具体的変革のエビデンス(根拠)を簡潔に教えてほしい。
			2、市選挙管理委員会のもう一つの任務、「有権者の政治常識の向上に努める」をなぜ形骸化するのか	先般の市議会議員選挙の対応及び先の12月議会での選管事務局の返答に対する、疑問点を聞く。 また、合併後投票率の低下傾向が続くが、選挙管理委員長は、この状態をどのように認識しているのか。
			3、人口減少、高齢化に対する三豊市の「動態調査」部署の構築を改めて聞く	市の生産年齢人口(15～64歳)の急激な減少は、市内のすべての分野に「多大な影響を与えている」。再任用職員の能力を生かし、市民の動態調査をやってはどうか(9月議会)の具体的施策の進捗を聞く。
			4、フィンランドの「ネウボラ」をめざした、市の「子育て世代包括支援センター」の第2ステージ状況を聞く	9月議会で「若い父親、母親も子育ての大変さの弱音を吐ける、周囲も寛容に守る。そんな三豊市になるよう努力されていること」を聞いた。それにかかわる市職員の努力の大変さを含めた課題を聞く。
			5、GIGAスクール構想では(明記されていない)自尊感情等の感情面の育成はできないとの6月議会の答弁をもとに聞く	6議会でGIGAスクールのICT活用によって、すべての問題、課題が解決するとは考えていない。心の問題(自尊心等の感情面)含めてだ。だからICTの活用に振り回されたり、ICTの導入によって今後生じるかもしれない課題や不都合を予測しつつ、子どもたちの不利益にならないよう慎重に検証を怠らぬことが必要だと答弁だった。検証を日々行っているのか。また誰が検証するのか。端的に答弁を。

発言通告書の要旨(代表質問)

令和4年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/10 (木)	4	公明党 込山文吉	1、新型コロナウイルス感染症対策	子どもたちの安心・安全を守る切り札として、5歳から11歳児への新型コロナワクチン接種が実施される。 しかし、16歳未満の幼児児童生徒にワクチン接種を行うに当たっては、保護者に丁寧な情報提供を行い、保護者の同意を得ることが求められる。また、小学生以下の幼児児童への接種については保護者の同意と同伴を求められる。どのような情報提供をし、啓蒙されるのかお聞きする。
			2、SDGs未来都市みとよ	令和2年度SDGs未来都市に選定された三豊市、数々の事業に取り組んできた。 ウイズコロナとSDGsの取り組みを重ね合わせ、根本的な構造の変革と訴えておられる。 しかし、一部の職員にしかSDGsは浸透していないように感じる。 市の事業のすべてを、SDGsの17の目標から捉えなおすことが必要であると思うが考えを聞く。
			3、人と自然が守られる定住のまち	(1)少子化対策について ①新婚家庭支援の充実について(家賃補助の充実) ②子育て支援充実について(放課後児童クラブの充実) ③学習支援の充実 ④スポーツクラブの充実 (2)社会インフラ点検 ①市道等の生活環境点検 ②防災減災対策の点検 ③通信インフラ整備
3/14 (月)	5	桜の木 田中達也	1、情報の伝達について	施政方針の中で重点的な取り組みとされている「情報の伝達」について、「さまざまな情報発信ツールを掛け合わせながら、必要な方に必要な情報が届くよう、情報の伝達の在り方を検討する」とあるが、どのような体制でいつまでに行われるのか。
			2、投票率の低下について	施政方針では「シビックプライド」について述べられているが、それを測る指標として、市政への関心を示す「投票率」は特に重要なものであると考える。合併以降低下し続けている投票率について、その原因を明らかにし、対策を講じる必要があると考える。当局の見解は。 市内ショッピングモールでの期日前投票所開設が準備されていたが、実施されていない。その理由は。
			3、コロナ禍における学びの保障とデジタル・シティズンシップ教育、デジタルデバイス解消について	(1)感染拡大により、学校の閉鎖等が相次いでいる。そのために前倒しされたGIGAスクール構想により貸与された1人1台端末を効果的に活用し、学びの保障が行われているのか。 (2)学校教育におけるデジタル・シティズンシップ教育の必要性に対する認識について問う。 (3)デジタル社会の到来に備え、生涯学習においてもデジタル・シティズンシップ教育を展開し、市民間のデジタルデバイドを解消する必要があると考える。市教委の認識を問う。
			4、Mito Pay(ミトペイ)について	独自の決済手段を提供することについては、常に他のメジャーな決済サービスと比較し、独自路線であるべき根拠と優位性を示す必要がある。 施政方針で述べられた【地域通貨を通して、「農業」や「産業」と「健康」を結び付ける】、【アプリを介した消費喚起に取り組むことで、厳しい状況が続く地域産業の安定経営と地域経済の下支えに取り組む】についての具体的な手法と、優位性を測る評価指標を問う。
			5、健康省エネ住宅の普及について	施政方針に掲げる第1の柱「健康」と、第3の柱「三豊市独自の脱炭素社会」の両方にアプローチすることができる「健康省エネ住宅」の普及について、市長の見解を問う。

発言通告書の要旨(代表質問)

令和4年第1回定例会

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/14 (月)	6	志政会 丸戸研二	1、人口減少対策	(1)三豊市ならではの処方箋とは何か。 (2)シビックプライドの醸成を踏まえ、さらに具体的な克服策を聞きたい。 (3)空き家の増加とその利活用策
			2、小中学校の統廃合	(1)「教育」は、市長が提案する重要施策3本柱の一つである。 (2)誰一人置き去りにしない学びの場提供と学校統廃合との関係は。 (3)保護者らの意思の尊重と市長のリーダーシップ
			3、宝山湖ボールパーク夢いっぱいプロジェクト	(1)用地の取得計画と進捗は。 (2)健康というテーマとの具体的な関連 (3)カマタマーレ讃岐との関係 (4)施設の維持管理と経営
			4、みとよ市民病院の経営	(1)病院経営に対する考え方 (2)常勤医師確保の状況 (3)独立採算経営について
	7	自民創生会 市川洋介	1、新型コロナウイルスの今後の三豊市における独自の施策について	(1)三豊市における新型コロナウイルスの現状について (2)国からの新型コロナウイルス対策補助金について (3)公共施設における新型コロナウイルス対策について (4)市民に告知すべき新型コロナウイルス情報管理について
			2、文化、スポーツにおける三豊市の今後の施策について	(1)市民の文化、スポーツの活動の把握について (2)三豊市における文化、スポーツの将来像について (3)文化、スポーツ財団の創設について
			3、中学校単校における運動部、文化部活動の限界と教員の働き方改革について	(1)現在、各中学校における部活動の実情について (2)各中学校の部活動における格差について (3)指導する教員の専門性について (4)指導する教員の働き方について (5)部活動の指導者を民間に委託することについて